

株式会社デサント 「水沢ダウン」生産拠点水沢工場建て替えについて

2026 年（第 44 回）毎日ファッション大賞「話題賞」を受賞

株式会社デサント（本社：大阪府、代表取締役社長：小関 秀一）は、これまで以上に丁寧で難易度の高いモノづくりを支える機能性の向上と働きやすさを両立させることを目的に、2025 年に当社の子会社であるデサントアパレル株式会社・水沢工場（岩手県奥州市）の建て替えを行いました。本取り組みが「日本で高品質なモノづくりを続ける新たなモデル」として評価され、2026 年（第 44 回）毎日ファッション大賞（主催：毎日新聞社 後援：経済産業省）において、「話題賞」を受賞いたしました。

毎日ファッション大賞は、新聞創刊 110 年を記念して 1982 年に創設された、ファッションに携わる人々の優れた業績を称えるとともに、新たな才能を発掘し、より充実したファッション情報の発信を続けることで、ファッション界のさらなる振興および文化の育成に貢献することを目的とした表彰事業です。その中でも「話題賞」は、年間を通じ、その活動が広くファッション文化に貢献し、同時に社会的インパクトを与えたと認められる人、企業、団体（分野を問わない）に対して贈られます。

【受賞理由】

株式会社デサントの子会社であるデサントアパレル株式会社の水沢工場は、「水沢ダウン」の生産拠点として、生産数量の拡大に頼らず、一着あたりの価値向上に特化したモノづくりに取り組んでいる。株式会社デサントは約 30 億円を投じて工場を建て替え、2025 年に新工場を稼働させた。新工場では、より高度で丁寧なモノづくりを支える環境整備に加え、環境配慮や地域との共生、従業員満足度の向上にも取り組み、働く人と地域社会を大切にする工場のあり方を提示した。海外生産が主流となるなか、品質・技術・人材を次世代へつなぎ、日本で高品質なモノづくりを続ける新たなモデルとして関心を集めた。

当社は今回の受賞を励みに、今後もデサントの競争力の源泉である「高付加価値な商品開発」を深化させ、世界中のお客様へ最高の品質をお届けするとともに、地域社会や環境に貢献するモノづくりを続けてまいります。



【水沢工場だから誕生した「水沢ダウン」】

2008年に誕生した「水沢ダウン」は、当社のモノづくりの象徴です。冬季国際大会に向かう日本選手団のため、厳寒・多雨雪の開催地に耐える防寒ウェアとして開発されました。ダウン表面の縫い目を極力減らす新しい発想で、水の浸入を防ぎ、防水性・保温性に優れたジャケットです。すっきりした見た目とは裏腹に、製作には一般的なダウンジャケットの約2倍の280の工程が必要であり、そのほとんどが手作業です。曲線パーツの縫製、扱いの難しい素材、やり直しの利かないシームテープの圧着など、高度な技術と正確さが求められる難易度の高い作業が必要です。このとてつもない手間と高度な縫製技術を実現できるのは、機能性が高く複雑な構造の生産を長らく手がけてきた、熟練の技と設備を備えた水沢工場だからこそです。

26年秋冬「水沢ダウン」特設サイト：<https://allterrain.descente.com/mizusawa/>

【関連プレスリリース】

2025 年 7 月 1 日配信 新水沢工場竣工について：

https://www.descente.co.jp/jp/press_releases/250701cop/

2025 年 11 月 6 日配信 水沢工場 メディア向けお披露目会開催について：

https://www.descente.co.jp/jp/press_releases/251106cop/

※現 デサントアパレル株式会社 代表取締役社長 兼 水沢工場 工場長：塔筋 祥平